

富山県人

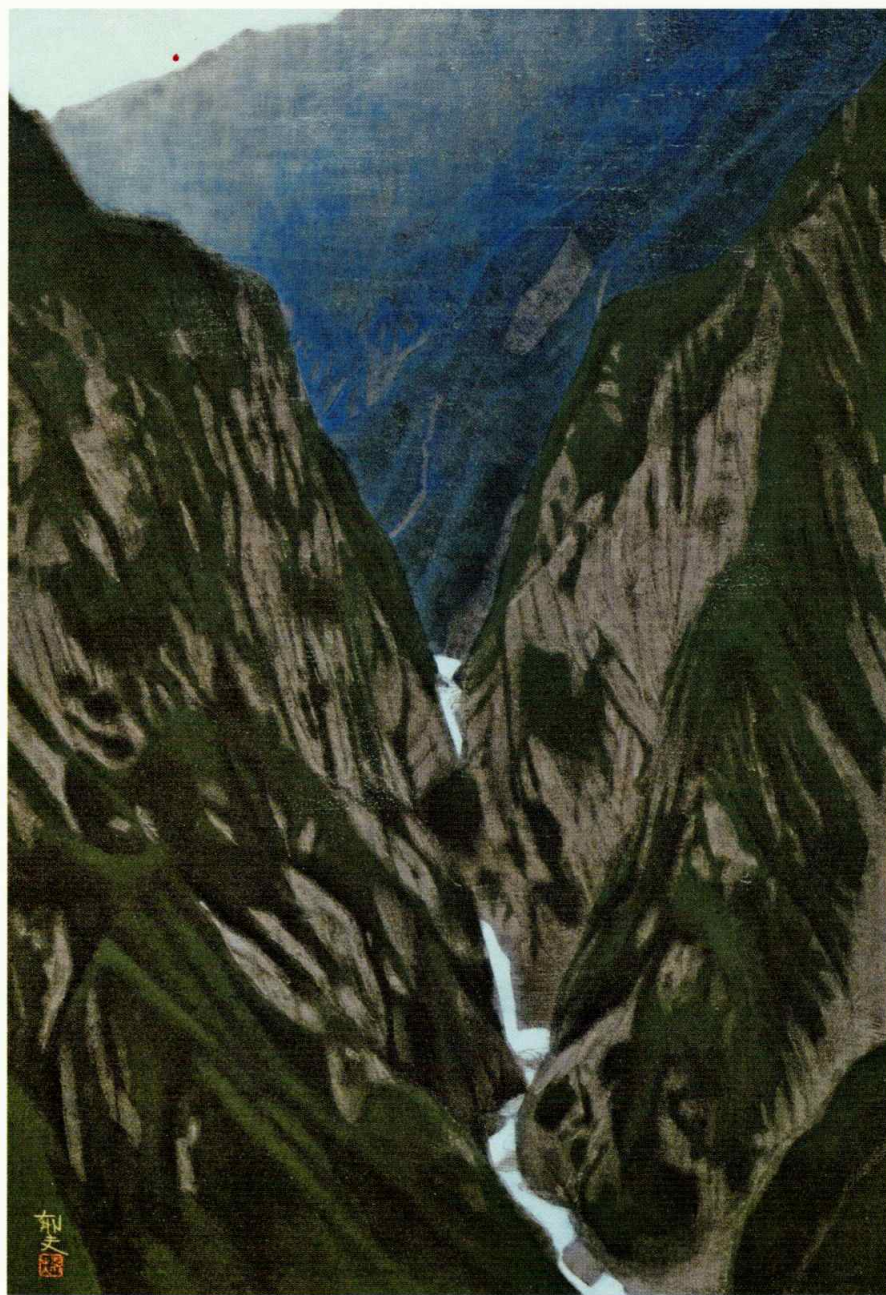
2024

令和 6 年 5 月号

「黒部峡谷 幻の瀧」

平山 郁夫

黒部峡谷の剣沢に位置する剣大瀧は、険しい谷の奥にあり、その姿を見た人が極めて少ないことから「幻の瀧」と呼ばれています。秘境黒部を象徴するこの瀧を描くため、画家はヘリコプターに乗って上空から取材しました。神秘的な瀧と峡谷の姿が重厚な色彩で表され、作品に込めた祈りのようなものが伝わってきます。(1995年制作、セレネ美術館蔵)



◎昭和会ゴルフ第198回コンペ

(3月27日、東京よみうりCC)

連日雨の中の唯一の晴れ間に、参加11人は実力を発揮。同時に行われた23年度取切杯は稲嶋裕介さんがグロス87、ハンデ7、ネット80にて優勝した。

①人見 保 G 84 H 3 N 81

②河合正晴 G 90 H 10 N 80

(初参加のため準優勝)

③澤田佳久 G 89 H 7 N 82

◇ベスグロ 人見 保 84

九州

永守新会長のもと活動再開

福岡富山県人会

福岡富山県人会は3月22日、オリエンタルホテル福岡で、2019年10月以来となる懇親会を開催した。21人が参加した。



空席となっていた会長に就任した永守良孝会長(元RKB毎日放送社長)が挨拶し、中村豊彦副会長(佐藤工業執行役員九州支店長)が乾

杯の音頭をとって懇親会を楽しんだ。富山県の「ふるさとの空」を歌い、西孝博氏(三協アルミ社長)が中締め

した。

今回は秋(10月頃)を予定する。

同窓会

抽選「びっくりくりくり玉手箱」

関西神通会

富山中部高同窓会の関西神通会第13回総会は3月10日、ホテルグランヴィア大阪で72人が参加して開かれた。

吉崎武尚会長が「同窓生同士楽しみましょう」と

挨拶。役員改選で吉崎会長

を再任した。

講演会は、

長澤忠徳武蔵

野美大理事長

(24回卒)が

「創造的思考

力の時代へ」

と題し、ムサ

ビで取り組ん

できたことや

自らが世に出したインタンジブル(無

形資産)についての考え方を解説した。

懇親会は吉崎会長の挨拶に続いて、

翠田章男本部長が能登半島地震によ

る富山の状況や、母校での講演会に今

年は長澤理事長に登壇いただくことな

どを紹介し、田中宏育校長は全国駅伝

大会に出場した女子陸上部のことなど



母校の近況を伝えた。

懇親会は長澤理事長の乾杯発声で開

宴した。女子さくら会が準備するお楽

しみ抽選会は、抽選箱の名前を募集し

たところ、久谷邦夫副会長が考えた

「びっくりくりくり玉手箱」がグッド

ネーミング大賞に選ばれ、今後、愛用

していくことになった。全員で校歌を

歌い、4団ごとに登壇して団歌を高唱

し、久谷前副会長が中締めした。

山町でひなまつりお茶会

菊友同窓会

旧高岡西高(元高岡女子高)卒業生に

よる菊友同窓会(山崎至会長)は「山

町筋のひなまつり」イベントに合わせ

3月17日、土蔵造りのまち資料館(旧

室崎家住宅)でお茶会を開いた。

母校は2022年に閉校し、前身の

高岡高等女学校の明治時代から受け継

がれてきたひな人形は、会場近くの

「山町ヴァ

レー」に寄

贈、保管さ

れている。

そのひな

壇を飾り、田辺恵子前会長が席主を務

め、茶道部OGらがもてなした。

卒業生にTシャツを贈呈

富大サッカーOB会富山本部

富山大学サッカー部OB会富山本部

(佐幸欣治会長)の総会・懇親会が3



月20日、富山市の高志会館で開催され

た。15名が参加した。

冒頭、佐幸会長が「各地のOBの皆

さんと現役学生との連携をより強化し

ていく。そのため昨年より名簿の整備

を進めている」などと挨拶した。

総会では、本年の全国OB交流大会

が10月12日に富山市で開催されるこ

と、能登半島地震で被災した2会員へ

の募金を呼びかけたところ、全国のO

B 52名から総額100万円を超える募金が

集まったこと、3月に卒業する8名の

学生に卒業記念のユニフォームTシャ

ツを贈呈したことが報告された。

懇親会では、本年度も引き続き現役

の選手たちに物心両面で支援を行うこ

とを確認し、悲願の1部リーグ復帰の

美酒を忘年会で酌み交わすことを約束

して会を閉じた。

地震で被災したOB会員2名への見

舞金は、3月30日に副会長4名と事務

局長1名が輪島市と七尾市に向いて

お渡しした。被災地の早急な復旧を願

うものである。(田中厚副会長記)